漁海況情報第７報（2026年 11月17日発行）

宮城県水産技術総合センター　　連絡先：0225-24-0139
※本報は「http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/」でも公開中です。

1．表面水温分布状況

表面水温（図１）は１６～１９℃の範囲で３～４℃低下しました。平年（過去３０年平均）との比較（図２）では，ほぼ平年並みですが、南部に１～２℃低い海域が見られました、前年同期との比較では（図３）金華山周辺を除き０～１℃程度低くなっていました。

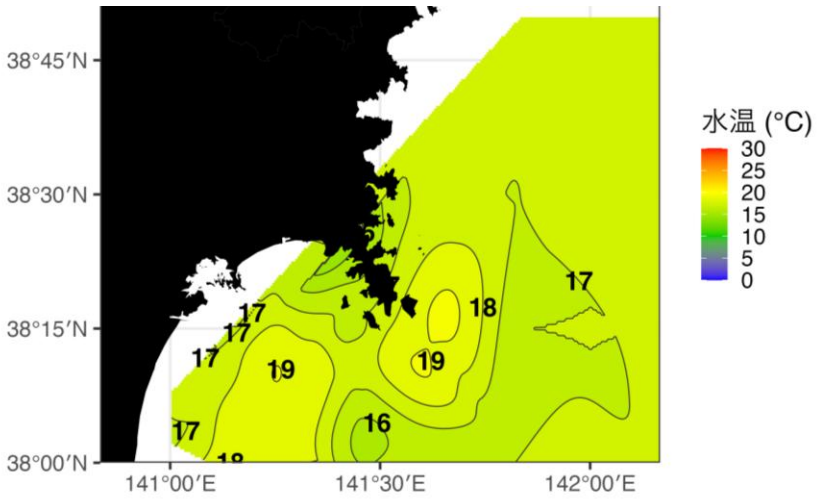

図１　表面水温分布図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

今後のポイント

福島県沿岸に黒潮続流から波及した暖水が見られます（下図）。この暖水の動向によっては、今後、水温の上昇が見られるかもしれませんので、注意してください。

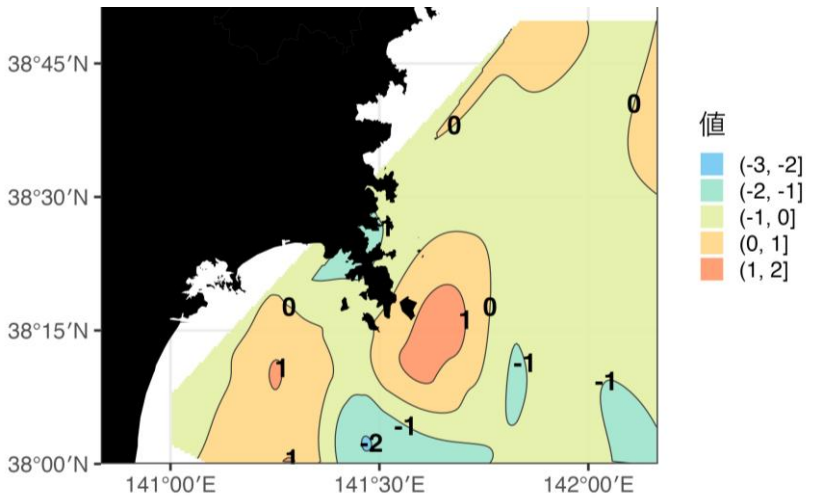

図２　表面水温平年偏差図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

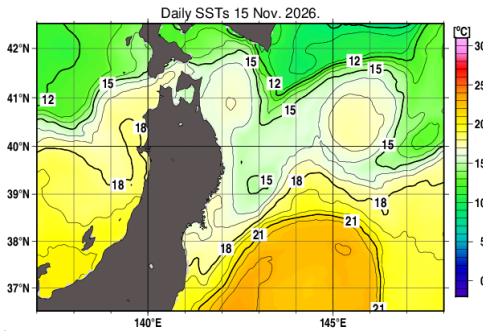

図　日別海面水温
（気象庁HP）

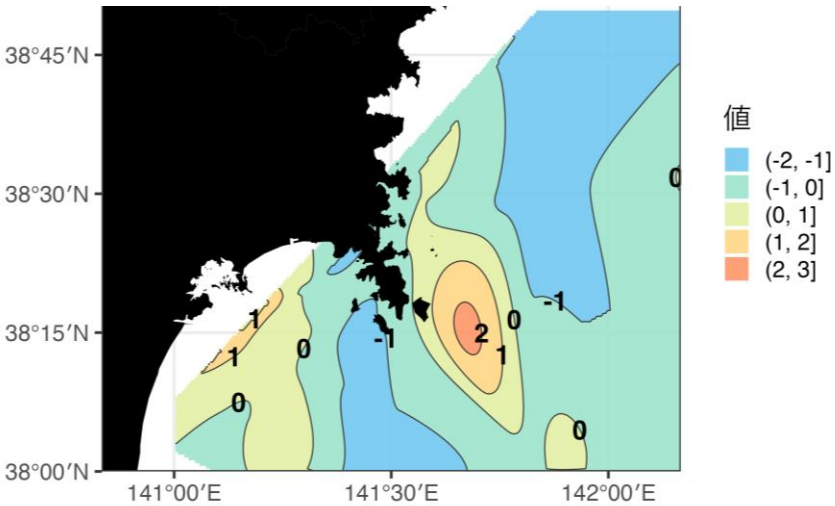

図３　表面水温前年偏差図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

２．１０m深水温分布状況

１０m深水温は前月より４℃程低く１７～１８℃で表面水温とほぼ等しくなっており（図４）鉛直混合が起きていると考えられます。平年値との差を見るとほぼ、平年並みとなっています（図５）。前年同期比では北部海域で１℃程低い部分がみられますが、全体的には前年並みとなっています（図６）。

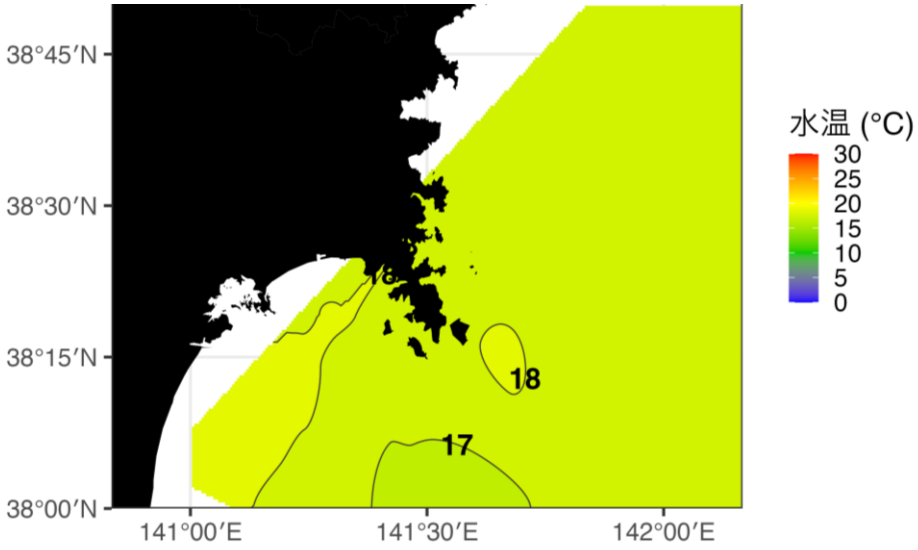

図４　１０m水温分布図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

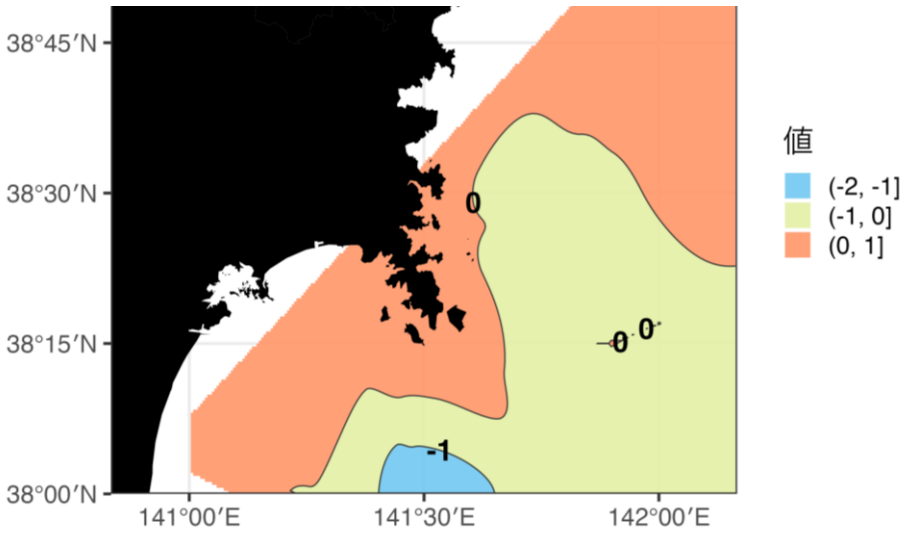

図５　１０m水温平年偏差図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

今後のポイント

表面水温と同様に福島県沿岸からの暖水が波及すると水温が上昇しますので、注意してください。

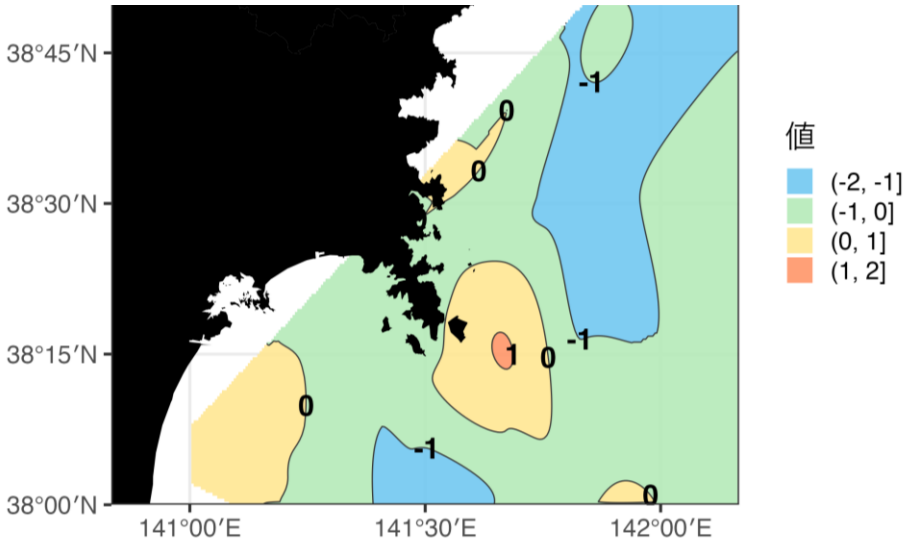

図６　１０m水温前年偏差図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

３．１００m深水温分布状況

１００m深水温は概ね１６℃台で前月より２～５℃高くなっていました（図７）。

平年との比較では１～４℃程度高く沖合側程、高くなっていました（図８）。

前年との比較では１～６℃高く、南東方向に向け高い海域が見られました。

すでに福島県側からの暖水の影響が見られていました。

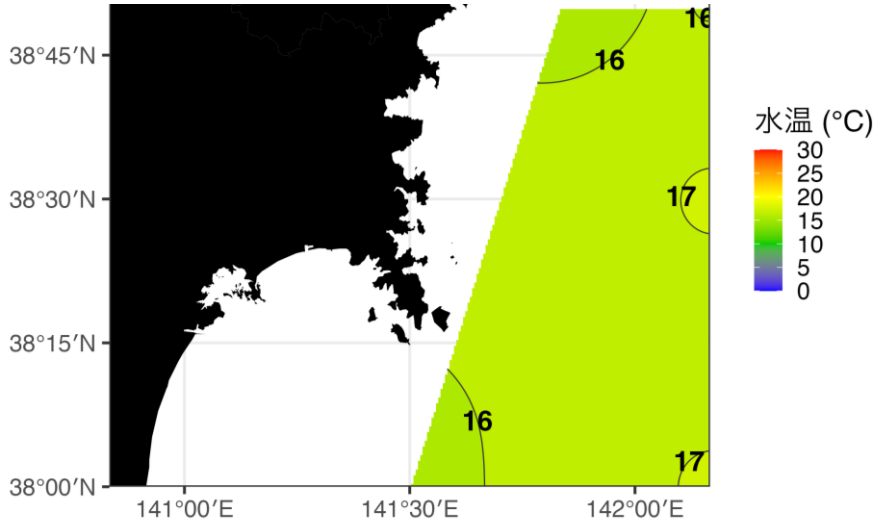

図７　１００m水温分布図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

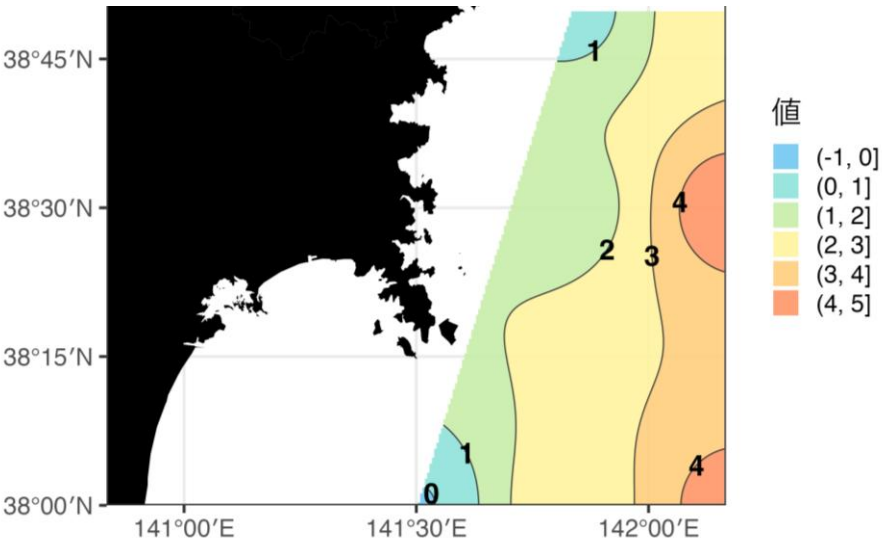

図８　１００m水温平年偏差図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

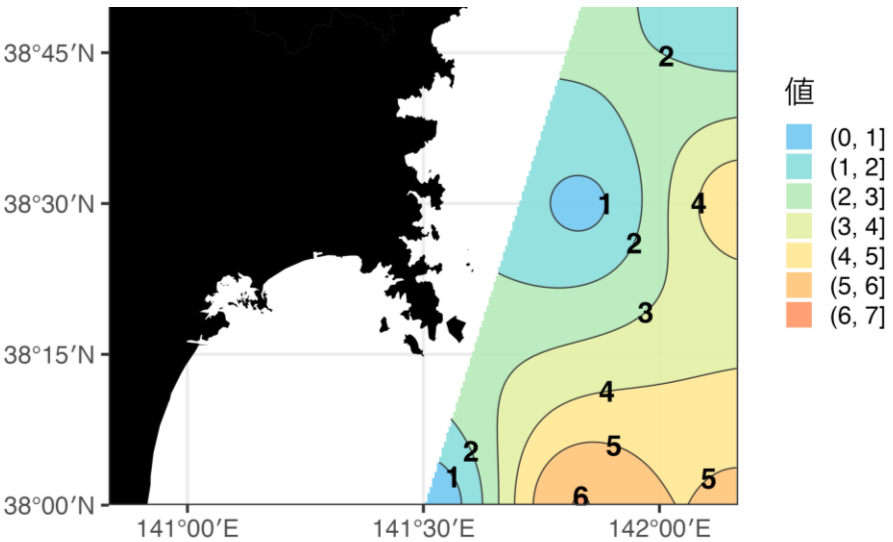

図９　１００m水温平年偏差図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

４．海底直上水温分布状況

海底直上水温は４～１６℃の範囲で沖合へ向かって水深が深くなるに従い、緩やかに低下していました（図１０）。

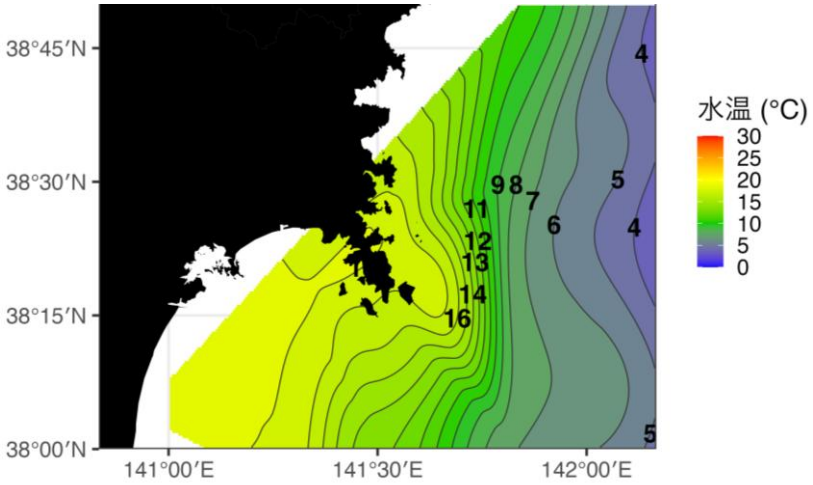

図１０　海底直上水温分布図
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

５．鉛直水温分布状況

表面から水深１００ｍまでは概ね同じ水温で鉛直混合が進んでいました。

水深が１００ｍを超える沖合では水深が深くなるに従い水温が急に低下していました（図１１）。

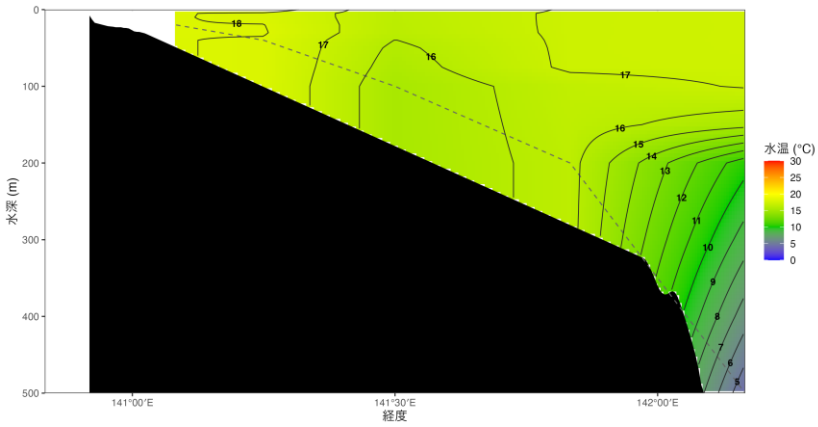

図１１　鉛直水温断面図（３８° N）
（２０２６年１０月２９日～１１月１１日）

６．定置観測水温の状況

平年との比較ではやや低め～やや高めとなっていますが、前年差は＋０．７から－１．２℃で昨年ほど高くなっていません。しかしながら、福島県沿岸から暖水が波及すると水温が上昇しますので注意が必要です。

みやぎ水産NAVI
下記のグラフや日々の水温を見ることができます。

観測地点	11月上旬		平年差	前年差
気仙沼（杉ノ下）	16.5	平年並	0.2	-0.9
歌津	16.9	平年並	0.3	-0.5
江島	17.9	やや高め	1.0	0.7
田代島	17.2	平年並	0.2	-0.4
佐須浜	16.0	平年並	-0.6	-1.2
桂島	14.0	やや低め	-1.2	-1.2
亘理	16.2	やや低め	-0.7	-0.6